

October 21st, 2011
Vol. 11

ESL Teachers: Harumi Nakagawa
Melissa Lauricella
Dylan McAuliffe
Nicholas Lauerman
Leanne Vergona



ニューヨーク育英学園
全日制 小学部
英語科通信
担当：中川

花な節節 花なII首つ巻巻

ハロウィーンパーティが来週金曜日に迫ってまいりました。子どもたちの多くは何に仮装するのか決めて、嬉しそうに話しています。当日まで内緒にして周りをびっくりさせようとしている子もいます。

ハロウィーンの歌・ダンスの練習も仕上げの段階に入り、ハロウィーンの飾りも作成して、いよいよハロウィーン気分が盛り上がってきました。

さて、当日の服装に関してですが、パーティは中休み後に始まりますので、朝は通常の服で登校し、中休みにコスチュームに着替え、パーティ終了後に通常の服に着替えられるよう、適宜衣装・着替えを持たせるようにして下さい。一日中着ていても疲れにくいコスチュームであれば朝、仮装して登校しても構いません。

また、パーティ当日にお菓子を持参して交換するのは構いませんが、学校で食べるのはパーティの Trick-or-treat でもらったお菓子のみとし、友達と交換したものは自宅に戻ってから食べるようにさせますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

**ハロウィーンパーティ
スケジュール**

10月28日(金)
3-6 時間目

第1部 Trick-or-Treat
(幼小合同の部)
10:50~11:15
※お菓子をもらいます。
<ランチ>

第2部 ファッションショー
& 写真撮影(学年別)
(小学部のみ)の部
12:20~1:20

第3部 ミステリーツアー
(小学部のみ)の部
※魔女(ESL 教師)たちの部屋
を回ってゲームをします。
1:30~2:05

UNICEF 募金箱 配付について



今年も UNICEF の Trick-or-Treating for UNICEF キャンペーンに参加したいと考えています。このキャンペーンはアメリカの家庭ではほぼ誰もが知っている伝統的なものです。NY 育英学園では昨年もたくさんの募金を集め、UNICEF からお礼状をもらいました。

決して強制ではありませんが、保護者の皆様にも今年もご協力いただければ幸いです。

募金の集め方は、ハロウィーン当日(31日[月])、保護者の方と Trick-or-Treat に出かける際に、募金箱と一緒に持って行き、訪問宅でお菓子をもらうと共に募金を依頼していただければと思います。

募金箱は、本日子どもたちに渡しました。ハロウィーンの次の日(11月1日)に回収し、まとめて UNICEF に送金します。

<http://youth.unicefusa.org/trickortreat>

31日(月) Trick-or-Treat に出かける際の 注意事項



ご家庭で Trick-or-Treat に出かける場合、今年初めてハロウィーンを迎える子どもたちはもちろん、何度も体験している子どもたちにも、必ず以下の注意事項を守らせるようにしてください。

- ・必ず大人と一緒に行く。
- ・知っている人の家に行く。

- ・もらったキャンディーなどは、食べても大丈夫か、一度おうちの人に確認してもらってから食べる。
- ・長い時間コスチュームを着ていたい子は、出かける前にきつすぎないか、おうちの人に調べてもらう。
- ・黒っぽいコスチュームを着る場合、夕方暗くなってから外を歩くと危ないので、目立つ色の上着を上に着る。
- ・夕方になると寒くなるので、上着を持っていくなど、風邪をひかないように注意する。
- ・斧や剣など、小道具を振り回さない。

Classroom Library クラス文庫 開設!

先週金曜日 10月14日より、金曜午前のレベル別クラス用のクラス文庫を開始しました。今後子どもたちにレベル・学年に合った本をたくさん読むよう指導をさせていただきます。

ご家庭でのご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

10月14日(金)のテーマはアートでした!

Class A: 色や形について英語で学んだ後、落ち葉を使って Sun Catcher を作りました。赤・オレンジ・黄・緑の落ち葉をちりばめて、スタンドグラスのようにきれいな作品が仕上がりました。



當山正賢君と廉林佑希乃さんの作品

Class C: モネ、ゴッホ、ダ・ヴィンチといった有名画家について学んだ後、古代ヨーロッパから使われている表現手法であるモザイクの手法を使って、思い思いの作品制作に取り組みました。



木村心音さんの作品

Flat "Me" Project!

金曜午前のクラスD/Eでは、先月より Flat Me Project に取り組んでいます。

このプロジェクトの元となっているのは "Flat Stanley" というアメリカの子どもの間で大人気の本です。この本の中では、寝ている間に巨大な掲示板が倒れてべたんこになってしまった Stanley が、封筒に入って世界中の友達のところへ郵便で旅をします。

この話をもとに、子どもたちはが自分の "Flat Me" を紙で作って、それを日本はもちろん世界中の友達や親戚宛てに英語の手紙と一緒に送りました。

送り先に届いた Flat Me は、それぞれの場所で、受け手の友達やおじいさん・おばあさんなどと記念写真をとって、また子どもたちの元に戻ってくる予定です。

子どもたちは世界に向けて発信していく練習をしているとも言えるでしょう。

Flat Me は2週間から1ヶ月で戻ってくる予定です。一体どんな旅になるのか、とても楽しみです。

Class B: 騙し絵で有名なオランダ人画家マウリッツ・エッシャーの数学的でユニークな画法の絵を鑑賞した後、自分の目をしっかり観察しながら、写実的な目の絵を描きました。単純だと思っていた目が光を反射している部分があったり、陰になっている部分があったりと、新しい発見に驚嘆しながら、繊細な目の絵を仕上げました。



ソレンソン・ルルさんの作品

Class D: ピカソについて学んだ子どもたちは、ピカソが創始したキュビズムの画法を使った作品に取り組みました。3枚の紙に違う絵を描き、その絵を重ねて切った後、パズルのように組み合わせて作りました。



軒野真帆さんと金子由奈さんの作品

Flat "Me" Project



Flat Me と一緒に記念撮影!
市村衣梨香さん 渡川ちはるさん

Class E: 抽象画、印象派、点描画法、シュールレアリズム、表現主義、リアリズムなどの芸術スタイルについて学んだ後、ゴッホの好んだ補色 (complementary color: 色相環 (color wheel) で正反対に位置する関係の色の組合せ。例「赤 / 緑」「橙 / 青」「黄 / 紫」など) を組み合わせた画法で肖像画を描きました。



片山カイウス君と芝沙織さんの作品